



市長 学校や年齢が異なる大勢の仲間との練習は、とても貴重な体験ですね。皆さんをまとめるのは大変です。

参加者 まだみんなの音が揃っていない部分もありますが、練習に励み、団員全員で心一つにして演奏したいです。11月23日の津山文化センターでの公演で、たくさんの人にわたしたちの演奏を聴いてもらいたいです。

平成28年4月に発足し、第10回津山国際総合音楽祭での初演に向けて練習に励む津山ジュニアオーケストラの皆さんにお話を伺いました。

参加者 わたしたちは初心者を含め、小学生から大学生まで85人の団員で週一回の練習に励んでいます。初めは担当する楽器ごとに分かれて練習し、今年の5月から全体練習をしています。

市長 初公演を保護者の皆さんも楽しみにしていることでしょうか。皆さんが好きなオーケストラに参加できる環境づくりや、津山にジュニアオーケストラの活動を根付かせていくために、保護者をはじめ大人の協力体制を考えていくことが大事ですね。皆さんの初公演を楽しみにしています。

第30回
とき 7月27日(木)
テーマ 津山ジュニアオーケストラの活動について

参加者
野上愛里さん(バイオリン)
ニコージュセンドーさん(バイオリン)
阿部りのあさん(クラリネット)
田嶋健介さん(打楽器)
神田恵子さん(運営委員長)
石川 徹さん(指揮者)
中嶋裕子さん(指導者)

参加者 団員をまとめるため、生徒会を立ち上げました。そこで団員同士の絆を深めるために、ボランティア活動やイベントを計画しています。

参加者 初公演に向けて、昨年の5月から練習を開始しました。はじめは団員の基礎的な演奏技術を高めることに力を入れ、その効果が顕著に表れ始めていることを実感しています。

市長 公演日まで残された時間はあとわずかですが、今後の練習では、津山の子どもたちにかかせない独自の音や音楽を作っていきたいと思います。

市民と市長のふれあいトークを開催しました

図書広報室 ☎32-2029

サンタフェ・サマーキャンプツアー報告

閩協働推進室 (市役所3階) ☎32-2032

7月21日～8月4日に、市内の中高生10人が、市と友好交流都市縁組を結んでいるサンタフェ市(米国)を訪問しました。現地では、ホームステイをしながらサマーキャンプツアーに参加し、サンタフェの文化体験や野外活動体験を通じて、現地の中高生と交流を深めました。その様子を紹介します。



サンタフェ市とは

アメリカ合衆国ニューメキシコ州の北部に位置する州都で、人口約6.9万人、面積107.7km²の都市です。気候は温暖で乾燥しており、年間300日が日照日ですが、標高が約2100mという高地に位置するため、冬には雪が降り、スキーを楽しむことができます。

また、街には数多くの美術工芸店や約200の画廊、8つの博物館があり、音楽や芸術、観光、科学産業が盛んで、ニューヨークやロサンゼルスに次ぐ全米第3位の芸術都市といわれています。

サンタフェ市との交流の経緯

平成3年、日本で姉妹都市を探していたサンタフェ国際姉妹都市協会のモンド・セクター氏が国際親善都市連盟(東京)を訪問し、人口規模・地理・歴史や津山国際総合音楽祭など文化によるまちづくりを進めていた「津山市」を紹介され、交流が始まりました。

以降、相互に訪問団の受け入れや派遣などを通じて活発に交流が進み、平成9年に友好交流都市の調印を行いました。平成24年からは、中学生の訪問団派遣が始まり、平成29年には対象を高校生に広げています。

サマーキャンプツアーの様子



参加者の声

「英語に対してさらに積極的になった」
「世界の人々との交流の大切さがわかった」
「日本と外国を結ぶ仕事に興味を持った」
「アメリカの大学に進学したい」など

①教会の前で集合写真 ②お別れパーティー ③乗馬体験 ④ホストファミリーと記念撮影 ⑤ハンバーガーショップで昼食 ⑥ラフティング体験

津山市の国際友好交流都市・サンタフェ市へ訪問する参加者を募集します!

訪問日程 平成29年11月頃～(7日間)
ところ サンタフェ市など
内容 交流やホームステイ体験など
対象 どなたでも参加可
定員 10人

参加費 35万円程度(津山サンタフェ友好協会より助成金1万円あり)
申込期間 10月2日(月)～23日(月)
企画団体 津山サンタフェ友好協会
委託先 株式会社 JTB 中国四国 津山営業所

※オプションツアーあり(別途料金要)

※日程などに変更が生じることがあります。申込方法など、詳しくはお問い合わせください

閩津山サンタフェ友好協会事務局(協働推進室内) ☎32-2032

シティプロモーションシリーズ⑤

400年の歴史「津山まつり」に注目!!

閩秘書広報室(秘書) ☎32-2026



宮大工の手で彫られた装飾が美しい山車や、金色に輝く大神輿、そして、それらとともに練り歩く人々とにぎわい。毎年10月の第3・4日曜日に行われる「津山まつり」は津山の秋の風物詩となっています。

津山で400年以上もの歴史を歩んできた徳守神社(宮脇町)と大隅神社(上之町)、そして高野神社(二宮)の秋祭りが、今では総称して「津山まつり」と呼ばれています。県指定重要有形民俗文化財を含む山車が勢揃いし、多くの引き手とともに駆け抜ける光景は圧巻です。

日本を訪れる外国人観光客が今年1～6月で1,375万人と、これまでの訪日記録を更新するなか、日本らしさを感じる伝統行事は大きな関心を集めていて、津山まつりは海外から注目される可能性を秘めています。

歴史ある津山には、まだまだ市外の人から注目される魅力が隠れています。皆さんも身近にある伝統行事を、今までとは違う視点で見直してみたいはかがでしょうか。(関連ページP4)